



## 自分の命は自分で守る！「命てんでんこ」 ～避難訓練～

4月15日(木)6校時に、避難訓練を実施しました。お忙しい中、講師として白河消防署表郷分署の3名の署員の皆様にお出でいただき、御指導をいただきました。

避難訓練は年間2回以上実施しなければならず、第1回の今回は、避難経路の確認するというのを主眼に置いて実施しました。第2回は、地震を想定した避難訓練となります。

先日の交通安全教室の際に、「自分の命は自分で守る。」という話をしましたが、火災や災害等もいつ起こるかわかりませんので、自分で自分の命を守らなければなりません。岩手県の三陸地方では、昔から大きな津波が何度も押し寄せてきました。この地方では、津波が起きた場合は、「**命てんでんこ**」(「命は、めいめい、つまり**各自**が守る」という意味)を伝えられてきたそうです。つまり、「一人一人ばらばらに高台に逃げろ」と教えられてきたのです。

学校にいる際は、教員が指導しながら進めていきますが、災害はいつ起こるか分かりませんので、常に自分で考えて行動できるよう、今後も話していきます。常に私は話している「心が動けば、頭も体も動く。」に通ずるものだと思います。

御家庭でも災害が起きた場合のことを話題にしていただければ幸いです。



↑  
3名の消防署員の皆様

3階からの  
放水訓練→



## 部活動、中体連に向けて急発進！ ～部活動休みの日の過ごし方～



4月に入り、新たな年度のスタートを切り、部活動も練習試合や大会が目白押しとなってきます。冬季の練習から急に動きが激しくなっているため、疲れもたまってきます。十分な睡眠、バランスの良い食事について、御家庭で話題にしていただければ幸いです。また、部活動休みの日は、十分に体を休め、気持ちを切り替えるよう言葉をかけていただければと思います。学校でも指導していきますので、どうぞ、よろしく願いいたします。

## 「やる気を出す」って？

「子どものやる気を出させるには、どうしたらいいでしょうか？」とよく質問されます。私は、常々、「心が動けば、頭も体も動く。」と言っていますが、つまりは「やる気」を出すことと同義語です。よく言われている回答は、次のようなことです。

### ① 大きな目標に近づくための目先の目標を決めること

50点だった人が突然100点をめざすのは、おずかしいです。まず60点、70点と少しずつ目標をこまめに設定することが大切です。

### ② やる気が出る環境を整えること

例えば勉強については、机の上が乱雑、テレビはつけっぱなしなどでは、勉強する雰囲気にはなりません。子どもと一緒に勉強しやすい環境づくりに努めることが大事です。

### ③ 「なぜやるのか」子どもと一緒に考える姿勢をもつこと

「勉強はとにかくやるしかない！」「おれらも子どもの時も、やってきたんだ。」「余計なことを考えず、やれ」などと言いがちです。

「なんで勉強をやらなければならないのかなあ？」と問いかけ、子どもに考えさせることが大切です。

### 「心のスイッチ」

東井義雄（とうい よしお）

人間の目は ふしぎな 目

見ようという 心がなかったら 見ているも見えない

人間の耳は ふしぎな 耳

聞こうという 心がなかったら 聞いていても 聞こえない

頭も そうだ

はじめからよい頭 わるい頭の区別が あるのではないようだ

「よし やるぞ！」と 心のスイッチがはいると

頭もすばらしい はたらきを しはじめる

心のスイッチが 人間をつまらなくもし すばらしくもしていく

電灯のスイッチが 家の中を明るくもし 暗くもするように

心が動けば、  
頭も体も動く。

## 転入職員の紹介①

今号から、新しく転入した職員を1人ずつ紹介していきます。4月24日(土)の授業参観の日に、通常ですとPTA全体会があり、転入職員の紹介をするのですが、今回、コロナ対策のため、全体会は紙面で行うことになりました。つきましては、この学校だよりで紹介していきます。第1回目は、私、**校長の菊池篤志**です。



校長 菊池篤志

プロフィール等については、配付した学校だよりには掲載しております。